

竹の子川柳会

とおりみち花がたくさんうつくしい

小一 上岡 涼楓

赤ちゃんのうでは短いかわいいな

小四 山田 清也

ゆつくりとのんびりすぐす気持ちいい

小五 梶野 海斗

ねこにしか通れない道あるんだな

小六 梶野 峰士

クリスマス何がとどくか楽しみだ

小六 瀧本 ななみ

温泉にゆつくりつかるリラックス

中二 清原 瑠依

ゆつくりとあせらずいつも前向きに

中二 吉良ちひろ

お肉焼くちゃんと中まで火を通す

中三 清原 沙耶

楽しくて続けてしまうあのゲーム

高一 宮崎 京

ゆつくりと苦手なこともがんばろう

高二 宮川 直輝

秋風で空中さんば落葉たち

高二 榎 美咲

風に揺れ赤や黄色に色づく葉

高二 上岡 夢菜

卒業のカウントダウン時止まれ

高三 山口はると

自転車で坂道下る風になる

高三 榎 美琴

農作業のあとの一服至福どき

伊勢本 恵

SOS 人文字ヘリに抱えられ

宇津本アヤ子

決勝戦どちらも花を持たせたい

渡辺 照子

夏バテは始めから無い妻である

若宮 賢敬

もつれ糸家裁で恥をさらけ出し

宮川 柳酔

また転ぶもつれる前の老いの足

男武志津江

五臓六腑まごがもつれて身がもたぬ

加藤 桂子

数が減る庶民銀行露路の奥

水野すみこ

友人とのもつれた糸がほぐれない

川添 忠昭

一善を積んで庶民の花咲かす

米子 達雄

行く道を決める庶民は凜として

熊本 忠真

真実が庶民の声に潜んでる

山本 雅之

秋の街路樹衣脱ぎ捨て冬の陣

宇都宮 忍

秋祭り神も氏子も酔っている

渡辺 光男

ひよし川柳会

鬼北の足跡を辿る…【鬼北の霊山 第5回】

鬼北の霊山 「鬼北の霊場」

まぼろしの霊場「奈良山」をテーマとして、そこに点在する信仰遺跡などを紹介していきます。今回は、「彦惣岩屋」について取り上げてみたいと思います。

山岳仏教・修験で欠かせないのが、修行場です。一般に、滝・洞窟・岩場は修験の三大要素といわれます。ただし、はじめから修行場になるものではありません。まず、山頂に神をお迎えし、そこまでの道のり（行道路）を開きます。その道の途中にある自然石などに神さまを祀って、各所の神に挨拶をしてまわることが巡業や、廻峰行といった修行へと発展していきます。その路程が出来上がつてのちに、それぞれの場所が修行場となっていくといえます。

「岩屋」とは、洞窟や岩陰のことですが、神の棲む場所、すなわち修行場が「岩屋」です。等妙寺の周辺には「岩屋」が2か所確認されており、その一つが中野川にある「彦惣岩屋」です。

この岩屋の由来や伝説は残されていませんが、明治時代までの地名は「彦惣」で、その屋号をもった家系が判りました。か



中野川の山中にある彦惣岩屋